Weekly Report [2022 年 2 月 5 日]

今 週 の 見 通 し

先週末の終値（インターバンクの公式レート）

ドル/円 115.21　EUR/USD1.1451　EUR/JPY131.93

ドルの総合的な強弱を示すドル･インデックス

【ドル･インデックスの週足（上がドル高、下がドル安）】

反落です。

シカゴ IMM ポジション

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

【シカゴ IMM のポジション】
http://www.cftc.gov/dea/futures/deacmesf.htm

2 月 1 日時点のポジションは、ユーロでは、ユーロロング 213,563 枚ｖｓユーロショート 183,847 枚、ネットユーロロング 29,716 枚（1 月 25 日　ロング 31,560 枚）です。

また、同時点の円は、円ロング 14,510 枚 vs 円ショート 75,150 枚、ネット円ショート 60,640 枚（1 月 25 日　ショート 68,273 枚）

つけ加えて、同時点のポンドは、ポンドロング 29,597 枚 vs ポンドショート 53,202 枚、ネットポンドショート 23,605 枚（1 月 25 日　ショート 7,763 枚）です。

ユーロのネットロングは、微減です。

円のネットショートは、微減です。

ポンドのネットショートは、増加です。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

□□ 今週の注目点 ----------

特に今回触れておきたい点は、以下となります。

1.ドル/円、レンジ相場は続く？
2.EUR/USD、今週の寄り付きが大事
3.GBP/USD、利上げはしたが
4.クロス円はレンジか

---

1. ドル/円、レンジ相場は続く？

■■ ここが重要！

- ✓ **レンジ相場の第 2 段階の安定期にいる**
- ✓ **レンジのコアは 114.50～116.50 近辺か**
- ✓ **レンジ相場から抜け出すのは 5 月になってから？**

ドル/円　1 時間足

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

先週は、月曜日に 115.59 を高値に、FOMC メンバーから大幅利上げに慎重な発言が相次いで出たことから、下げはじめ、水曜日には、ADP 雇用者数が-30.1 万人と予想の 18.4 万人をはるかに下回ったことから、一気に売りが強まり、114.16 の安値をつけました。

そして、今度は、弱気になって、売り上がったため、ショートになり上げはじめました。

そして、金曜日、発表された 1 月の米雇用統計では、失業率は 4.0%（予想 3.9%）、非農業部門雇用者数 46.7 万人（予想 12.5 万人）となり、特に非農業部門雇用者数が予想を大きく上回ったことから、一気に、買いが強まり、一時 115.43 をつけましたが、上値も重く、115.20 近辺まで緩み、115.21 での越週となりました。

つまりは、1 週間通して見ると、マーケットは要人発言や経済指標の発表に振り回され、買えば下がり売れば上がるという、典型的なレンジ相場となりました。

これは、1 月 30 日の週間レポートでも申し上げましたように、レンジ相場の中でももっともレンジ相場らしいある一定の値幅の中で上下する安定期となっているためだと見ています。（相場の構造分析につきましては、前回 1 月 30 日のレポートで詳しく解説しておりますので、どうぞご参照ください。

ドル/円　日足（相場の構造分析）

この時期を、まだやって、さらに値幅が狭くなるレンジの第 3 段階である収束期を迎え、それをやった後、やっと相場が一方向に向かうトレンド相場になるものと見ています。

イメージとしては、安定期をこれから 1 カ月半ぐらい、そして収束期を 1 カ月半ぐらい、都合 3 カ月ぐらいまだレン

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

ジ相場がまだ続くのではないかと見ています。

確かに日本時間の 3 月 17 日早朝には FOMC があって、多分利上げをすることになると思いますが、安定期の最後の頃にぶつかり、FOMC の結果に上下動はするものの、結局は、レンジ内に値動きは収まり、そして、収束期に移行するものと見ています。

尚、3 月 20 日頃から、多くの本邦企業の本決算に絡んでレパトリ（国外で運用している資産を国内に戻して円に換えて決算する）のため、ドル売り円買いが強まりますので、米金利上昇による日米金利差拡大からの投機的なドル買い圧力と拮抗し、レンジが続くものと考えています。

そして、その後の収束期の 1 カ月半は、ほぼ 4 月一杯となると思います。

例年 4 月は、本邦勢の新年度となり、むしろ、機関投資家や実需は、新年度の方針策定のため動かなくなりますので、マーケットは投機筋ばかりとなり、多少の上下は一時的にあっても、結局相場は収束していくものと見ています。

そして、やっとレンジ相場になって一方向に相場が動き出すのが、5 月になってからではないかと、現在のところは考えています。

つまり、3 月、4 月は季節要因に大きく影響されます。

ただし、2020 年の 2 月・3 月のように新型コロナウィルス感染拡大で、相場が 10 円以上も振幅した年もありますので、その年その年の事情はありますので、もちろん絶対ではありませんが、一応、季節要因は頭に入れておくべきかと思います。

それでは、目先のレンジ相場の値幅はどれぐらいのものかということですが、114.00～117.00 ぐらいではないかと見ています。

もっと、コアで申し上げれば、114.50～116.50 近辺に収まるのではないかと見ています。

やはり、相場の趨勢を月足で見てみますと、上げのトレンドは続いており、その意味から、レンジ相場と言いながらも、相場の流れは尻上がりに上がっていくのではないかと見ているからです。

次頁に、月足のチャートを添付しましたので、相場を遠望してみてください。

5 カ月移動平均線が、既に 114.50 近辺まで上昇してきていることに注目です。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

ドル/円　月愛

5MA＝114.50、10MA＝112.41、90MA＝111.42、25MA＝108.91

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

2. EUR/USD、今週の寄り付きが大事

■■ **ここが重要！**

- ✓ **寄り付き段階で、25 週移動平均線を上抜けるか**
- ✓ **上抜ければ、上値を本格トライ**
- ✓ **抜けられなければ、レンジ継続**

EUR/USD 週足

25MA＝1.1499、5MA＝1.1344、10MA1.1327

ファンダメンタルズ的には、EU は、インフレと景気後退が同時進行するスタグフレーションで、さらにウクライナ情勢という地政学的リスクもあって、しかも、FRB は 3 月利上げ示唆に対して ECB は、テーパリング（量的緩和の縮小）に慎重だったということから、米ドルとユーロの金利差拡大から、投機のロジックとしてはユーロ売りドル買い志向でした。

Copyright (C) 2014 Banya Market Forecast All Rights Reserved.

それが、先週のラガルド ECB 総裁が、テーパリングに重い腰を上げたと匂わす姿勢を見せたことから、ユーロは、投機筋のショートの買い戻しを巻き込み急騰し、強い米雇用統計発表後、一時 1.1500 目前の 1.1484 をつけました。

それでは、これからさらに上がるかですが、週足の 25 週移動平均線を上抜けるかどうかが重要で、これは今週の週足の寄り付きに注目する必要があります。

寄り付きで抜けてくれば、1.1500 を試し、それを突破できれば、1.1700 を目指すものと見ています。

一方、25 週移動平均線を下回っての寄り付きになると、結局は、1.1200～1.1500 近辺のレンジが続くものと思われます。

EUR/USD　日足

120MA＝1.1491、5MA＝1.1338、25MA＝1.1325、10MA＝1.1285

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

しかし、さらに日足で見てみますと、120 日移動平均線が上を抑えており、レンジになる可能性の方が、高そうです。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

3. GBP/USD、利上げはしたが

■■ **ここが重要！**

- ✓ **先週木曜、BOE は利上げ決定**
- ✓ **ただし、上げは一時的**
- ✓ **目先はレンジか**

GBP/USD 日足

先週の木曜、BOE は、政策金利を 0.25%上げて 0.50%としました。

金融政策委員 9 人のうち、5 人が 0.25%引き上げに賛成して決定されましたが、実は残りの 4 人は利上げに反対ではなく、0.50%の利上げを支持したことがわかり、いかにインフレ懸念が強まっているかがわかりました。

ただ、相場の方は、利上げが決まって上昇したものの、上げは長続きせず反落しており、目先は 1.3450～

Copyright (C) 2014 Banya Market Forecast All Rights Reserved.

1.3650 ぐらいのレンジではないかと思います。

また、日足のトレンドも右肩下がりは崩れてはおらず、長期的にはまた下げる可能性もあるのではないかと見ています。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

4. クロス円はレンジか

■■ ここが重要！

- ✓ 結構、荒っぽい上下動になる可能性あり
- ✓ したがって、ワイドレンジ
- ✓ MXN/JPY、ZAR/JPY も揉み合いか

EUR/JPY

EUR/JPY　日足

往ったり来たりのレンジ相場だと見ています。

それでも、結構荒っぽい動きをする可能性があり、レンジ幅は。128.50～133.00 あたりで見ています。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

GBP/JPY

GBP/USD　日足

レンジ相場と見ています。

しかし、かなり荒っぽい動きをしそうです。

153.00～158.00 近辺で見ています。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

AUD/JPY

AUDJPY　日足

レンジ相場と見ています。

しかし、結構荒っぽいと思われます。

79.00～84.00 近辺と見ています。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

NZD/JPY

NZD/JPY　日足

基本的にレンジと見ています。

他のクロスも結構上下しそうですので、NZD/JPY も荒っぽい動きになる可能性があります。

74.50～78.00 近辺と見ています。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

CAD/JPY

CAD/JPY　日足

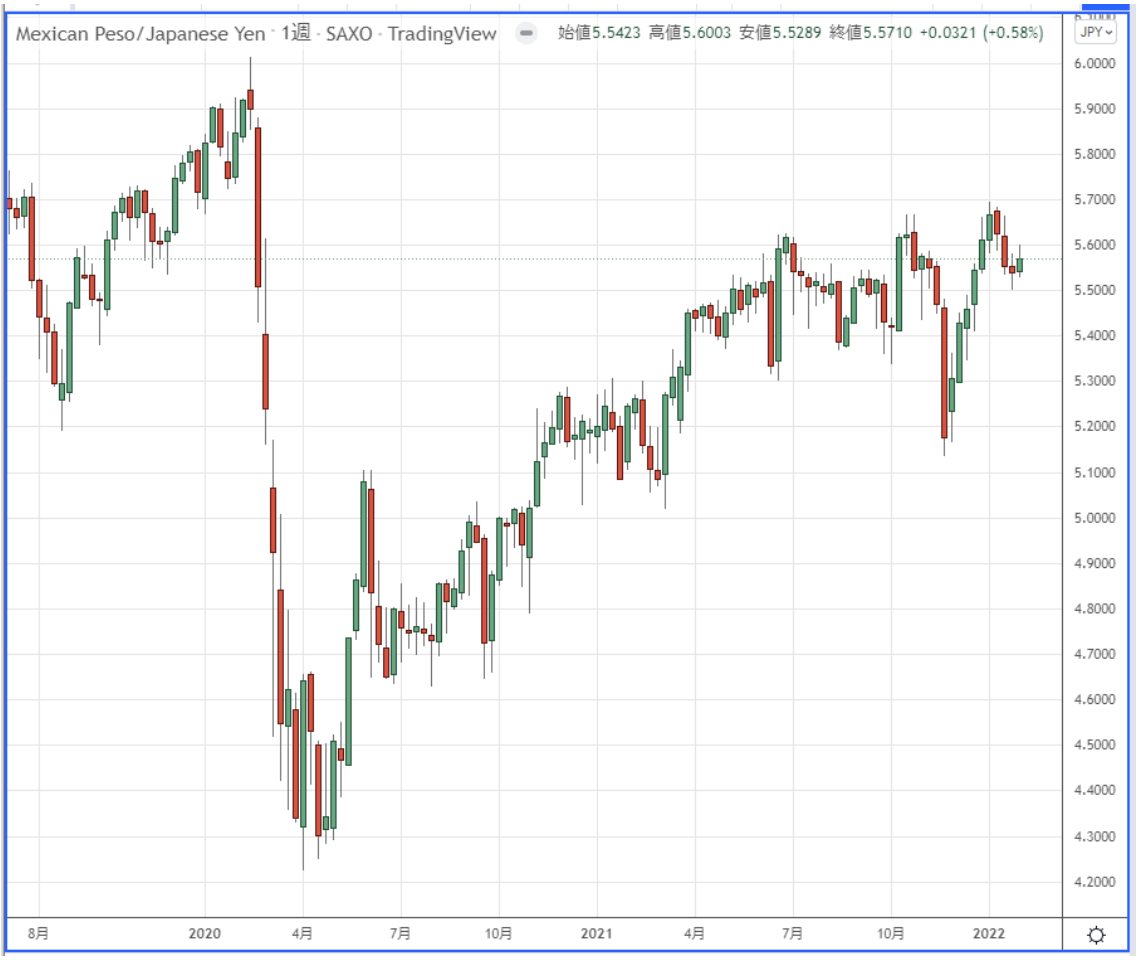
基本的に、レンジと見ています・

88.00～92.00 近辺で、上下するのではないかと考えます。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

MXN/JPY

MXN/JPY　週足



当面、揉み合いかと見ています。

レンジ幅は、5.5000～5.7000 近辺かと思われます。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

ZAR/JPY

ZAR/JPY　週足

当面、7.200～7.600 での、揉み合いではないかと思います。

三角保ち合い（もちあい）が、形成されそうです。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

他のプロダクツ（投資対象）の動向

それでは、その他のプロダクツ（投資対象）の動向を見てみましょう。

ニューヨークダウ

横ばいです。

米国債 10 年物利回り

上昇です。

原油価格の週足

上昇です。

Copyright (C) 2014 Banya Market Forecast All Rights Reserved.

金価格の週足

横ばいです。

商品相場の総合的な強弱を示す CRB Index の日足

上昇です。

ニューヨークダウは横ばい、一方、ドル/円と相関関係にある、米国債 10 年物利回りは上昇ですので、ドル/円は上昇と見ました。

EUR/USD と相関性の強い金は横ばい、逆相関の関係にある原油と商品は上昇ですので、EUR/USD は下落と見ました。

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.

今週の注目イベント・経済指標発表

それでは、最後に、今週の注目イベント・経済指標発表は、以下の通りです。

7 日（月）12 月の日本の景気動向指数、1 月の中国の財新サービス業 PMI、米独首脳会談
8 日（火）1 月の日本の景気ウォッチャー調査、1 月の米貿易収支
9 日（水）インド中銀政策金利決定
10 日（木）1 月の日本の国内企業物価指数、1 月の米消費者物価指数、メキシコ中銀政策金利決定、欧州委員会経済見通し公表、ベイリーBOE（英中銀）総裁講演、OPEC 月報
11 日（金）建国記念日で東京市場は休場、英第 4 四半期 GDP・速報値
12 日（土）特になし
13 日（日）独大統領選

以上

Copyright (C) 2014　Banya Market Forecast　All Rights Reserved.